

協会ニュース

2023.7 vol.71

目次

- ◇ 2023年度三重県医療ソーシャルワーカー協会決議報告
- ◇ 2025年日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会 開催に向けて
- ◇ 新人紹介
- ◇ 病院紹介
- ◇ 研修報告
- ◇ 次回研修案内
- ◇ 編集後記

2023年度三重県医療ソーシャルワーカー協会 総会決議結果報告

日時:2023年5月20日(土) 13:30~16:30

場所:三重県総合文化センター レセプションルーム

新型コロナ対策で2020年度からオンラインでの開催としていましたが、今年度は4年ぶりに現地開催といたしました。

総会時点での全会員数177名のうち、過半数にあたる 148名(現地参加:64名 委任状:84名)の参加があったため本会は成立しました。

【第1号議案】 2022年度事業報告及び収支決算報告

【第2号議案】 2023年度事業計画及び予算案報告

⇒上記すべての議案について可決されました。

かなり久しぶりの対面での総会開催となりましたが、64名の協会員に現地までお越しいただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

山田前会長
基調講演新入会員
自己紹介

【報告】2025年 日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会 開催に向けて

1. 大会開催の目的と意義

会長 高村純子

コロナ禍であっという間に3年が経過する中で、私たちは様々な変化に向き合い、そしてソーシャルワークをあきらめませんでした。来年の4月、三重県MSW協会は創立70周年を迎えます。前回の60周年のテーマ、そして道を切り開く中で私たちが求めてきたフレーズに「ソーシャルワーカーへの期待」というものがあります。しかしもうそろそろ、「他者からの期待」を聞くのではなく、私たちは、自分たちの声で、ソーシャルワークってこんなにおもしろい、三重でくらす人たちの暮らしをこんな風に支えているよ、ということを私たちが伝えるフェーズに入っているのではないかと思います。

私はこのコロナ禍をへて、どうしたのか、なんだか外に出たり、人に会ったりすることが公私ともおっくうに感じることがあります。皆さんの中にも、自分の施設でなんとかかなる、三重県だけでいい・・・と感じる方もみえるかもしれません。しかし社会福祉士・ソーシャルワーカーは、個人の困りごとを解決するだけではなく、その小さな声を時代や、地域社会の課題として提示していく専門職でもあります。私たち、MSWの居場所は、決して安泰なわけではありません。今「あなた」は、先人が「あなた」のために開拓してきた道の上にあります。私たちは次の世代にもとぎれなくこの道をつなぐ必要があります。そこで創立70周年にあたり、MSW実践の価値と原点を見つめ直し、コロナ禍をくぐり抜けた県内のソーシャルワーカー達がふたたび結束するために、全国のMSWが三重に集まり、ソーシャルワーク課題への取り組みや、先駆的な実践を間近に学ぶことができるこれほどのチャンスはないと考えたのです。一人では難しいけれど、志のある仲間となら必ずできる。だからこそ、自分の施設やその周辺だけ

でなく、井の中の蛙にならないように、大海原を、一緒に日本中のソーシャルワーカー達とソーシャルワークをたっぷり満喫したいと考えています。

2. 開催に向けたQ&A

①運営について

大会の運営は日本医療ソーシャルワーカー協会(以下、日本MSW協会)が経費含め運営責任を負います。三重県MSW協会は行いたい企画を立案し、最終的に日本MSW協会主導の企画と組み合わせて大会プログラムを作成していきます。大会の会場設営やホームページでの申し込み管理、旅程手配、大会抄録集作成、大会当日の受付業務等は、日本MSW協会よりイベント支援業者に業務委託する形となります。

②会員の扱い

都道府県MSW協会(都道府県医療社会事業協会)、日本MSW協会、日本精神保健福祉士協会、日本ソーシャルワーカー協会の会員は、会員扱いとなります。三重県MSW協会の会員は、会員扱いとなります。

ただし、演題応募の発表者及び共同研究者は日本MSW協会会員のみです。入会申請中でも応募可能ですが、演題採択の段階には、入会済であることが望まれます。

単に学会を共催するということが以上に、もっとこの機会を、みなさんと三重県全体で楽しめないかと考えています。



学会は、観光を楽しみにみえる方も多いので、実行委員も医療機関だけでなく三重県のおもてなし、地域とのコラボなど大会の企画運営だけでなく楽しい繋がりのお機会はなればと考えています。若手のみなさんも、業務でへとへとの人も、子育てでいっぱいひたひたのひとも、体の疲れがなかなかとれない世代も「できることを、できる人が、できるときに」。和歌山大会に習って皆が協力し、ソーシャルワーカーとしてあなたのあしあとを残してほしいと思います。

大会準備の大まかな想定スケジュール

時期	準備内容
大会開催決定	
2023年5月	当協会総会で準備・実行委員募集計画等検討
6月	東京大会開催(6.17~18)
2024年3月	実行委員会にて大会テーマ決定⇒8月頃にかけて企画立案
6月	大分大会開催中に2025年大会のPR活動
7月	大会ホームページ公開・ポスターによる広報・協賛募集等
8月	企画・予算書を日本協会へ提出
9月	学会用演題募集～12月末頃まで
2025年1月	プログラム決定⇒開催要項配送・2月より参加者登録開始
5月	抄録集完成、会場・業者・講師・日本協会との最終調整
6月	三重大会開催

新加入会員紹介

今年度に入会されました方のご紹介です。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



鳥居 春花
とりのいち かのか

三重大学医学部附属病院

皆様のお仲間に入れていただき大変うれしく思います。一日でも早く業務に慣れ、患者さんやご家族に「話しやすい」と感じてもらえるようなワーカーになれるよう精進していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



井上 茉耶
いのうえ まや

岡波総合病院

4月より入職しました。井上と申します。病院という囲いに外の景色が見える窓を作り、より良い生活を患者様や医療職とともに考えることが出来るようなソーシャルワーカーを目指したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



小林 愛
こばやし あい

岡波総合病院

この春までは京都で障害分野の相談員をしていました。三重県に住むこともMSWとして働くことも初めてなので、新鮮な毎日です。まずは地域の特色や資源、制度を学びながら、ケースに触れて少しずつできることを増やしていけたらと思います。よろしくお願いいたします。



安藤 知美
あんどう ともみ

市立四日市病院

これまで児童福祉分野で務めておりましたが、4月より市立四日市病院に入職いたしました。これまでの経験を活かした支援ができるよう、まずは日々の業務に精一杯取り組み、日々成長できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



池村 美樹
いけむら みき

遠山病院

専業主婦の期間を経て、古巣で復帰しました。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



樋口 美樹
ひきうち みき

藤田医科大学七葉記念病院

日々学ぶことがたくさんですが、患者様、ご家族にとってよりよい支援ができるよう精一杯がんばります。早く1人前のMSWになれるよう研修等にもたくさん参加していきたいとおもいます。



庄山 雄貴
しゅうやま ゆうき

松阪中央総合病院

初めまして！この4月から、新卒で入職しました庄山と申します。至らぬ点ばかりですが、一人一人の患者様のお力になれるよう邁進いたします。皆様と共に働くことを楽しみにしております。



小林 幸平
こばやし こうへい

鈴鹿中央総合病院

4月から新卒で鈴鹿中央総合病院に入職しました。まだまだわからない事が多いですが、日々の業務や患者・家族との関わりを大切に、少しでも早く成長できるよう頑張ります。ご迷惑おかけすることもあるかと思いますがよろしくお願いいたします。



中島 理沙
なかじま りさ

鈴鹿中央総合病院

4月より入職いたしました。前職では四日市市の老健で支援相談員をしていました。老健と急性期病院での業務の違いに戸惑うことも多いですが、患者様のお気持ちに寄り添った対応ができるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



古川 夢有亜
ふるかわ むいあ

桑名市総合医療センター

日本福祉大学を卒業し、4月から桑名市総合医療センターの医療ソーシャルワーカーとしてお世話になっております。持ち前の明るさを活かして頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



内藤 良真
ないとう りょうま

主体会病院

MSWとしては新人で右往左往しながら日々の業務に当たっております。地域の皆様方が安楽に過ごして頂けるように、患者家族に寄り添い共に解決していける支援を心掛けて参ります。また関係各所の皆様方にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、地域連携の一助となれるよう尽力して参りのお力添えのほどよろしくお願いいたします。



病院紹介 《志摩市民病院》

第13回目は、志摩市民病院からの報告です。

病院について

伊勢神宮から車で1時間くらいの志摩市大王町にある病院です。志摩市は人口約45,000人、高齢化率40.2%の準過疎地域で離島が2つあります。現在の当院病床数は、地域包括ケア病床29床・療養病棟31床となっております。在宅医療に力を入れており訪問診療、訪問看護(医療・介護保険)、訪問リハビリ(介護保険)を行っています。当院は、数年前に指定管理制度導入の話が浮上し医師や看護師の退職が相次ぎ、病院の存続が危機的な状況にまでなりました。現在の院長がひとり残り新体制になりいろいろな活動をしてきました。

まずは、絶対断らない「地域の皆さまに寄り添う身近な病院になる」を基本理念に1.常に笑顔で対応します。2.患者様の立場に立ち、常に温もりある接遇をします。3.患者様の人権を尊重し、患者様の視点で医療を行います。4.患者様が、大切にされていると感じていただけるケアを実践します。5.チーム医療を実践し、明るい病院づくりに努めます。6.地域の医療機関や多職種と連携し、地域医療の充実に努めます。7.臨床実習医療機関として、地域医療を担う人材を育成します。8.公共性と経済性を考慮し、健全な病院運営に努めます。の基本方針を全職員で作りました。

次に病院のことを市民に知ってもらおう！身近に感じてもらう！と各町で「タウンミーティング」毎年秋に「病院まつり」を夏には「志摩子どもメディカルラリー」などを開催しています。(今年は病院まつりを現地開催で予定しております)また、学生教育にも力を入れており臨床実習や医療体験学習の受け入れも積極的に行っております。実習期間中には担当患者様の自宅訪問(離島も含む)、外出・外泊などの同行、地元の行事やお祭りに参加し地域の特性を知ってもらうこともしています。

休日には研修委員とともに志摩地域1日ツアー・国家試験前には合格祈願の手作りお守りを送付し、卒業年度には当院独自の臨床実習生卒業式を公式行事として行っています。当院のホームページをぜひ覗いてみて下さい！！(https://shimacityhospital.jp/)



国民健康保険 志摩市民病院

〒517-0603 三重県志摩市大王町波切 1941-1
電話：0599-72-5555 FAX：0599-72-3949

ホームページ



Facebook



Instagram



地域連携室の紹介

社会福祉士3名・退院支援看護師1名・医師事務作業補助者2名・医療事務1名の7名が在籍しています。業務内容は、入院や転院の調整・他の医療機関からの検査の予約・退院後の生活や施設入所の相談・人工透析の相談窓口・介護保険や身体障害者手帳の申請などを行っております。患者様のより良い支援のために週1回のリハビリカンファレンスや病棟カンファレンスの参加、自宅訪問も積極的に参加しています。患者様のやりたい事(想い)を大



連携室のメンバー

切にし、叶えるため関係職種や医学生やリハビリ学生などみんなの力を借りて支援しています。出前講座の充実や今年度初めて慰霊祭を開催します。これからも市民の皆さまに身近に感じてもらえるよう役目を担いたいと思います。

(文 MSW 柴原亜由美)



地域体験
(網さばき)

メディカルラリー
(心肺蘇生)

病院まつり
(書道)



盆踊り

渡鹿野
天王祭



御田植祭

▶▶ 次回は、いしが在宅ケアクリニックからの報告を予定しています。お楽しみに。

研修報告



初任者研修

日時:6月30日(土) 9:30~16:00
場所:三重県総合文化センター

- ①『三重県MSW協会の概要と現認者教育体制(開講式)』
講師:川口恵生氏(小山田記念温泉病院)
- ②『日本における医療ソーシャルワーカーの成立と課題』
講師:高村純子氏(三重病院)
- ③『医療ソーシャルワーカーの価値と倫理』
講師:山田剛氏(みえ川村老健)
- ④『社会保障制度とソーシャルワーク』
鈴木志保子氏(三重大学医学部附属病院)
- ⑤振り返り



初任者研修の様子①



初任者研修の様子②

スキルアップ研修【病院機能別研修】

日時:7月8日(土)13:30~16:30
場所:三重県総合文化センター

- 講師:①急性期:樋口雅彦氏(鈴鹿中央総合病院)
②回復期:岡田智貴氏(藤田医科大学七栗記念病院)
③地域包括ケア:米本麻由佳氏(鈴鹿回生病院)
④緩和ケア:川口リサ氏(鈴鹿医療科学大学附属 桜の森病院)
⑤療養型:勝又広志氏(寺田病院)
⑥介護老人保健施設:岩田麻美氏(介護老人保健施設伊賀ゆめが丘)



病院機能別研修講師の方々



病院機能別研修の様子

今後の研修・イベント案内

■初任者研修

9月30日(土)

- 『医療ソーシャルワーカーと記録』
- 『生活機能障害とソーシャルワーク』
- 『支援方法論 チーム医療と地域連携』
- 『振り返り』

11月11日(土)

- 『支援方法論 入退院支援とアセスメント』
- 『支援方法論 面接技術とマイクロ・メソ』
- 『振り返り』

■スキルアップ研修 専門基礎研修

8月26日(土)

- 『日頃の業務と発表を結びつける方法』

9月10日(日)

- 『MSWの業務マネジメントを考える研修』

■合同研修 イベントなど

7月15日(土) 8月19日(土) 9月16日(土)

- 『外国人患者対応支援セミナー2023』

7月29日(土)

- 『ソーシャルワーカーデーin三重2023』

* 研修形態について、研修内容によって対面、ZOOMでのオンラインとなり異なります。詳細については協会から届くご案内を参照してください。ご参加お待ちしております。

編集後記

今年も新会員の方を迎え、今頃はどちらの職場でも指導する側される側、それぞれの方が毎日奮闘されていることと思います。久しぶりに私も指導する側になり、気づいた事があります。自分の仕事を言語化して誰かに伝えることは、客観的に自分自身の仕事を言語化し俯瞰的に捉え、向き合う事が出来るということです。医療ソーシャルワークという仕事の難しさ、楽しさ、やり甲斐などの奥深さを指導を通じて再認識する事ができ、長く携わってこそこの仕事だと思えました。

今、指導を受けられている新人の方がいつか自分と同じ立場で次の世代の誰かにそれを伝えてもらう、そんなふうに関わりながら、次に繋がるような連続性のある関係が築けるよう私に出来ることを日々頑張っていきたいと思っています。この一見、地味に思えるひとりひとりの日々の積み重ねこそが三重県MSW協会の未来にもつながっていくと信じています。

今年度も頑張っていきたいと思います。

担当:小坂・松田

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260